

上杉山中学校の生徒の皆さんへ

校長 數本 芳行

『明けない夜はない』

楽しみにしていた新しい学校生活、始業式、入学式が延期になってしまいました。校長先生も早く皆さんと共に学校生活をスタートしたいと思っていましたのでとても残念な気持ちです。始業式と入学式の挨拶の中で最初に皆さんに話したいと思っていましたことを伝えたいと思います。

3月上旬から始まった臨時休校が続き、始業式・入学式も2度の延長になりました。世界中が深刻な状況であり日本の大都市も同様です。仙台でも感染が広がっています。心理的にも先行きが見えず不安になり、制約があって思ったことができず疲弊する…。収束はいつになるのか、この状態はいつまで続くのか…。

でも、明けない夜はありません。頑張っていけば必ず道は開けていきます。大変な今を見て失望するのではなく、未来を見て今できることを考え行動することが大事です。

『大変』という字は、『大』きく『変』えると書きます。大変な時こそ自分を変える機会＝チャンス(Chance)であると考えます。行動を変える、ものの見方を変える、考え方を変える。いろいろな事を変えるチャンスです。以前の集会で3Cの話をしました。Chanceを見つけChallengeし大きくChangeしていく。そのように考えながら毎日の生活を送ってほしいと思っています。

そして自分のためだけでなく、周りのために皆のために出来ることをする。JRCの精神である『気づき考え行動する』こと。これこそが上中生であると思います。

『健康第一・安全第一 ～ 自分を守る 家族を守る 周りを守る ～』

ここからは、休業期間のことについてです。

健康であることが一番です。病気にならないためには、規則正しい生活、十分な栄養、十分な睡眠が大切です。長く休みが続きますがバランスを崩さないよう生活していきましょう。また、新型コロナウイルス感染対策については、政府広報その他で周知しているように3密を避けることや、接触感染を防ぐための手洗いや消毒、飛沫感染予防のためのマスク着用や、ソーシャルディスタンスの維持等出来ることを徹底しましょう。保健便りにも関連事項があります。

『一番大事な命』長い休みの前の集会で話の最後にいつも校長先生が言っていることです。事故なく、怪我なく休業中過ごしましょう。ちょっとした気の緩みで大きな事故や怪我につながったりします。また、家庭で過ごす時間が長くなることから、ネットを通じてのトラブルに巻き込まれたりすることもあります。長期休みの生活についての注意事項(休み前に配布)を参照して健全な生活を送ってほしいと思います。

5月には元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。